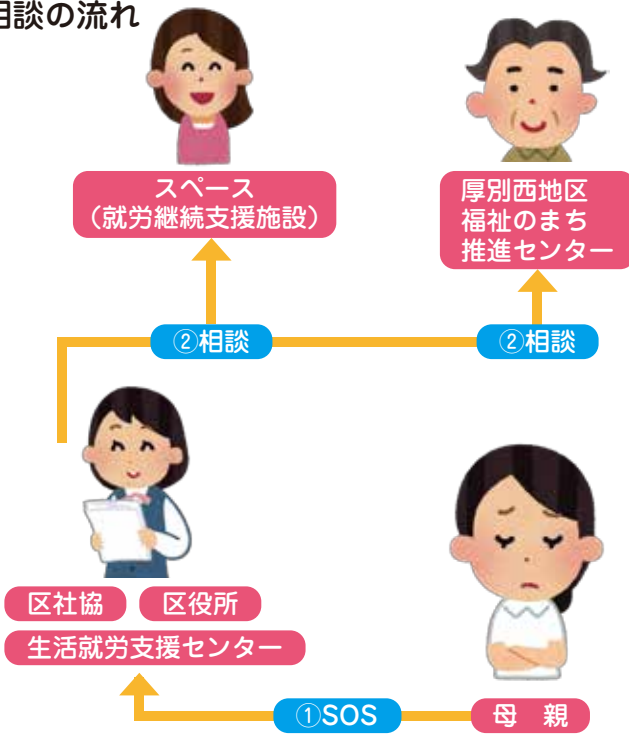


厚別西地区～母子(障がい者)世帯への個別支援～

相談の流れ



～支援の始まり～

母と子(2人)の世帯の母から区社協にSOSがありました。

母子の3人は、特定疾患を抱えながら生活しています。特に長女は介護が必要な状況で、母が介護をしていますが、母も病弱なため子どもの介護に限界がきていました。集合住宅2階で生活していましたが、階段の昇り降りが大変で、外出や毎朝のゴミ出しをすることも大変等の理由から、引越すことになりました。ですが、家族だけではできない。どうしたらいいだろうか?という、母のSOSが区社協に届き、地域で支援チームを結成しました。(左図①)

支援チーム

主な活動内容：ゴミの分別
大型ごみの搬出及び解体



～区社協と地域の動き～

区社協→厚別西地区福祉のまち推進センターへ相談し、母(相談者)の自宅近くの福祉推進委員へゴミの分別の依頼と大型ゴミの一時預かりを依頼。(左上図②)

区社協→スペース(就労継続支援施設)へ大型ゴミの搬出及び解体の協力依頼。(左上図②)

いずれも快く協力をいただき、また、支援当日は、福祉のまち推進センターから情報提供を受けていた民生委員も駆けつけ支援がはじまりました。当日は、総勢8名の支援チームのメンバーで引越しの準備を行い、そのおかげで、1日で活動を終了することができました。

※搬出したものは、学習机2台・電子ピアノ等の大型ゴミが11点とゴミ70kgでした。

厚別西地区福祉のまち推進センターより

地域住民の困りごとを発見・把握して、見守り・訪問活動や相談対応・サロン活動など実践しています。主に、高齢者中心の支援を日々行っていますが、今回は初めて母子(障がい)世帯の支援に関わりました。地域住民の困りごとで、地域の福祉推進員が手伝えることができれば、これからも協力できます。これからは、高齢者だけではなく、障がいがある方のことも気にかけていきたいと考えています。